

情報連絡員報告を中心とした
県内の中小企業動向(11月)

製造業

【豆腐製造】**【県下全域】**
冬向け需要が伸びてきた。景況が向上している兆候を感じている。

【製材】**【木更津】**
11月末に南洋材が一船入港。米材、ロシア材の入港はなし。

【印刷】**【県下全域】**
売上高は前月比で若干だが好転した模様。特に衆議院選挙関連の仕事で政党・候補者・官庁から受注している企業は大変忙しい様子。商業印刷を中心とする企業は年末商戦の仕事に希望を抱いている。用紙の在庫が増加中。

【生コン製造】**【県下全域】**
全国的に出荷量増加。市況上向き。

【電気鍍金】**【千葉】**
景況は依然として悪い。

【鉄工業】**【千葉】**
全体景況の「生産減少」による影響がかなり出始めてきている。そのため、代表者の景況感大きく落ち込んでおり、雇用・設備投資は様子見状態統一している。

【機械部品製造】**【野田】**
現状は落ち着いているが、一部に先行き不安の声が出て

来た。

【機械部品製造】**【流山】**
業種により売上が若干増加しているが、先行きは不透明。電気料金が値上げになり、製造コストが増加、企業負担は大きい。

【機械部品製造】**【柏】**
前月同様全体的に低調。自動車は長引く要素大。半導体不調等、受注減と閉塞感が現状。海外戦略に苦慮(中国リスク)各上場得意先。

【金属製品製造】**【船橋】**
これといった好材料は見当たらず、全般的に緩やかな悪化傾向。

【採石】**【県内全域】**
東京港の港湾整備、工事の遅れにより数量が減少。横浜港の南本牧コンテナターミナル整備事業での工事を見込むが、発注時期に遅れ。川崎港でも港湾改良工事があるが数量が限定されている。

【土砂採取】**【県内全域】**
採掘量は全体的には昨年比約14%減、県内全体の骨材の需要は減少傾向が著しい。地域的には、骨材の需要が悪化の一途を辿っている所や需要が今後全く見込めない所が大半。一部には需要動向が年末に向けて上向きになってきている所も見受けら

れるが、来年、新年度の状況は地域柄の出荷となりそうである程上がりそうでもない。

非製造業

【総合卸売】**【千葉県・東京都】**
総じて、デフレの進行止まらず、大手小売店と取引のある卸企業は、納入価格引き下げの要請が高まっており利幅減少。

【建築材料卸売】**【県下全域】**
コンクリートがやはり生活安全の基礎であることの再認識もあり需要は底固い。荷練りもタイトになりつつある。然し、心理的に暗い不安感があり景況感は悪いまま。

【自動車解体業】**【県内全域】**
スクラップ価格小幅反発したが、廃車の発生台数は変わらず低調。スクラップ価格反発と円高がストンプし、小康状態。

【乾物卸売】**【県内全域】**
消費低迷状況は変わらない。新海苔生産が始まった。全国的には順調のようである。九州地区は前年より量・質とも良い上りであるが、東京湾地区が苦戦。

【小売】**【柏】**
気温の変化と共に、秋冬物衣料に動きがあるが、廉価な商品が主流、収益は良くない。寒い冬が予想され、貸与時期に期待したい。

電気機器小売

【県下全域】
10月に引き続き11月も大変厳しい。顧客からの電話も減っている。

青果小売

【千葉】
野菜は全般的に安価となり、売りやすくなったが、思ったより動きが悪い。果物は主力の「みかん」が先月より上がり、こちらも動きが悪くなった。結局、前月より10%以上売上を下げってしまった。

【中古車仕入・販売】**【県下全域】**
年末に向けた需要低下を反映した下落基調。タマ不足も相場下落を覆す程でもない。輸出については堅調な状況で前年を上回る。

【小売】**【東金】**
秋がなく冬に突入の感あり。寒くなってきたので、冬対策グッズの動きがでてきた。食品等は健闘している。ファッション関連も冬への動きあり。旅行は落ち込んだ。

【小売】**【野田】**
業種により差はあるが、売上は総体的に前年比で約10%程度減少。年末商戦に期待。

【印鑑小売】**【県内全域】**
先月に引続き営業売上が前年を1割程度上回り、店頭売上のマイナス分を補い、全体的には売上増加に繋がった。

小売・サービス

【柏】
商店街のスーパーではチラシの回数を増やして昨対比を確保に追われている。各種サービスを増やした結果、収益が落ち込んでいるとの話。衝動買いが減り価格にもかなり敏感になっているようだ。

建設揚重

【県内全域】
稼動状況は前月同様、まあまあ。一部で不足も出てきている。しかし、価格は上昇には至らず。

【一般廃棄物処理】**【千葉】**
本年度、一番厳しい月となった。

【建設】**【県内全域】**
当連合会加入組合員の受注額は、840百万円であった。これは前月比で3,786百万円の減少であり、前年同月比でも958百万円の減少。地域別では、増額は北総、海匝。減額では千葉、香取、君津、安房、長生、山武、市原、千葉、夷隅で9地域で減少した。

【貨物運送業】**【野田】**
前年比は改善したものの、前月比は大きく下回った。秋の収穫時における運送が良くなかった。

【輸出入業】**【県下全域】**
厳しい環境が続いていて前月、前年同月は増加しているが、好景況感はない。